



日本を世界一豊かに。  
その未来へ心を尽くす一期一会の「いちご」

平成29年11月28日

各 位

インフラファンド発行者名  
東京都千代田区内幸町一丁目1番1号  
**いちごグリーンインフラ投資法人**  
代表者名 執行役員 長崎 真美  
(コード番号 9282) [www.ichigo-green.co.jp](http://www.ichigo-green.co.jp)  
管理会社名  
**いちご投資顧問株式会社**  
代表者名 代表執行役社長 織井 渉  
問合せ先 執行役管理本部長 田實 裕人  
(電話番号 03-3502-4854)

## 投資口の分割および1口当たり分配金の予想の修正のお知らせ

いちごグリーンインフラ投資法人（以下、「本投資法人」という。）は、本日開催の本投資法人役員会において、さらなる投資家層の拡大と投資口の流動性向上に向けて最低投資金額を半額にする投資口の分割を行うことを決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、投資口の分割に伴い、2017年6月28日付発表の「10か年の運用状況および分配金の予想の修正のお知らせ」および2017年8月9日付発表の「平成29年6月期決算短信」（以下、総称して「決算短信等」という。）で公表しました2018年6月期（第3期：2017年7月1日～2018年6月30日）から2026年6月期（第11期：2025年7月1日～2026年6月30日）までの1口当たり分配金の予想を修正いたします。なお、今回の1口当たり分配金の予想修正は、投資口の分割による発行済投資口の総数の増加に伴うものであり、運用状況の予想および実質的な分配金の予想に変更はありません。

### 記

#### 1. 分割の目的

本投資法人は、いちごがこれまで培ってきた再生可能エネルギー発電施設の運営管理ノウハウを最大限活用し、主として、再生可能エネルギー発電設備等へ投資を行うインフラ投資法人です。本投資法人は、今後さらなる拡大が期待される「グリーンインフラ」という新たなアセットタイプへの投資機会を提供し、長期にわたる安定性と成長性の両面を追求した運用を通じて、投資主価値の最大化とともに、サステナブル（持続可能）な社会形成への貢献を図っております。

本投資法人では、少額投資非課税制度（NISA）の浸透等を踏まえ、投資口の分割により投資単位当たりの金額を引き下げることで、さらなる投資家層の拡大と投資口の流動性向上を目指します。

## 2. 分割の概要

### (1) 分割の概要

2017年12月31日（日曜日）を基準日として、同日の最終の投資主名簿に記載または記録された投資主の所有する本投資法人の投資口を、1口につき2口の割合をもって分割いたします。

### (2) 分割により増加する口数等

- ① 分割前の本投資法人発行済投資口数 : 51,483口
- ② 今回の分割により増加する投資口数 : 51,483口
- ③ 分割後の本投資法人発行済投資口数 : 102,966口
- ④ 分割後の発行可能投資口総口数 : 10,000,000口（注）

（注）投資口の分割前後で発行可能投資口総口数に変更はありません。

### (3) 分割の日程

- ① 基準日公告日 : 2017年12月14日（予定）
- ② 基準日 : 2017年12月31日（注）
- ③ 効力発生日 : 2018年1月1日

（注）東京証券取引所での権利付き最終取引日は2017年12月26日を予定しております。

## 3. 1口当たり分配金の予想の修正について

### (1) 修正の理由

投資口1口を2口に分割することに伴い、決算短信等で公表しました2018年6月期（第3期：2017年7月1日～2018年6月30日）から2026年6月期（第11期：2025年7月1日～2026年6月30日）の1口当たり分配金の予想を、分割の割合に応じて修正するものです。

### (2) 2018年6月期（第3期）の運用状況および分配金の予想の修正

	営業収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期 純利益 (百万円)	1口当たり 分配金（円） (利益超過分配 金は含まない)	1口当たり 利益超過 分配金（円）	1口当たり 分配金（円） (利益超過 分配金を含む)
前回発表予想 (A)	1,095	262	147	146	2,820	4,360	7,180
今回修正予想 (B)	1,095	262	147	146	1,410	2,180	3,590
増減額 (B) - (A)	—	—	—	—	-1,410	-2,180	-3,590
増減率	—	—	—	—	-50.0%	-50.0%	-50.0%

※ 予想期末発行済投資口数 102,966口、1口当たり予想当期純利益 1,424円

※ 本投資法人は、減価償却費見合いの資金を活用し、借入金の返済、利益超過分配金や設備の定期改修工事（資本的支出）等に充当しています。減価償却費は会計上の費用であり、現金支出を伴いません。よって、利益超過分配金は、本投資法人の営業収益より支払われています。

(3) 2019年6月期（第4期）の運用状況および分配金の予想の修正

	営業収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期 純利益 (百万円)	1口当たり 分配金 (円) (利益超過分配 金は含まない)	1口当たり 利益超過 分配金 (円)	1口当たり 分配金 (円) (利益超過 分配金を含む)
前回発表予想 (A)	1,090	254	144	143	2,750	4,370	7,120
今回修正予想 (B)	1,090	254	144	143	1,375	2,185	3,560
増減額 (B) - (A)	—	—	—	—	-1,375	-2,185	-3,560
増減率	—	—	—	—	-50.0%	-50.0%	-50.0%

※ 予想期末発行済投資口数 102,966口、1口当たり予想当期純利益 1,389円

(4) 2020年6月期（第5期）の運用状況および分配金の予想の修正

	営業収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期 純利益 (百万円)	1口当たり 分配金 (円) (利益超過分配 金は含まない)	1口当たり 利益超過 分配金 (円)	1口当たり 分配金 (円) (利益超過 分配金を含む)
前回発表予想 (A)	1,085	240	145	144	2,780	4,380	7,160
今回修正予想 (B)	1,085	240	145	144	1,390	2,190	3,580
増減額 (B) - (A)	—	—	—	—	-1,390	-2,190	-3,580
増減率	—	—	—	—	-50.0%	-50.0%	-50.0%

※ 予想期末発行済投資口数 102,966口、1口当たり予想当期純利益 1,408円

(5) 2021年6月期（第6期）の運用状況および分配金の予想の修正

	営業収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期 純利益 (百万円)	1口当たり 分配金 (円) (利益超過分配 金は含まない)	1口当たり 利益超過 分配金 (円)	1口当たり 分配金 (円) (利益超過 分配金を含む)
前回発表予想 (A)	1,078	251	170	169	3,250	4,390	7,640
今回修正予想 (B)	1,078	251	170	169	1,625	2,195	3,820
増減額 (B) - (A)	—	—	—	—	-1,625	-2,195	-3,820
増減率	—	—	—	—	-50.0%	-50.0%	-50.0%

※ 予想期末発行済投資口数 102,966口、1口当たり予想当期純利益 1,642円

(6) 2022年6月期（第7期）の運用状況および分配金の予想の修正

	営業収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期 純利益 (百万円)	1口当たり 分配金 (円) (利益超過分配 金は含まない)	1口当たり 利益超過 分配金 (円)	1口当たり 分配金 (円) (利益超過 分配金を含む)
前回発表予想 (A)	1,072	249	183	182	3,500	4,390	7,890
今回修正予想 (B)	1,072	249	183	182	1,750	2,195	3,945
増減額 (B) - (A)	—	—	—	—	-1,750	-2,195	-3,945
増減率	—	—	—	—	-50.0%	-50.0%	-50.0%

※ 予想期末発行済投資口数 102,966口、1口当たり予想当期純利益 1,772円

## (7) 2023年6月期（第8期）の運用状況および分配金の予想の修正

	営業収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期 純利益 (百万円)	1口当たり 分配金 (円) (利益超過分配 金は含まない)	1口当たり 利益超過 分配金 (円)	1口当たり 分配金 (円) (利益超過 分配金を含む)
前回発表予想 (A)	1,065	260	198	197	3,790	4,400	8,190
今回修正予想 (B)	1,065	260	198	197	1,895	2,200	4,095
増減額 (B) - (A)	—	—	—	—	-1,895	-2,200	-4,095
増減率	—	—	—	—	-50.0%	-50.0%	-50.0%

※ 予想期末発行済投資口数 102,966口、1口当たり予想当期純利益 1,918円

## (8) 2024年6月期（第9期）の運用状況および分配金の予想の修正

	営業収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期 純利益 (百万円)	1口当たり 分配金 (円) (利益超過分配 金は含まない)	1口当たり 利益超過 分配金 (円)	1口当たり 分配金 (円) (利益超過 分配金を含む)
前回発表予想 (A)	1,059	253	194	193	3,720	4,410	8,130
今回修正予想 (B)	1,059	253	194	193	1,860	2,205	4,065
増減額 (B) - (A)	—	—	—	—	-1,860	-2,205	-4,065
増減率	—	—	—	—	-50.0%	-50.0%	-50.0%

※ 予想期末発行済投資口数 102,966口、1口当たり予想当期純利益 1,883円

## (9) 2025年6月期（第10期）の運用状況および分配金の予想の修正

	営業収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期 純利益 (百万円)	1口当たり 分配金 (円) (利益超過分配 金は含まない)	1口当たり 利益超過 分配金 (円)	1口当たり 分配金 (円) (利益超過 分配金を含む)
前回発表予想 (A)	1,052	251	196	195	3,750	4,020	7,770
今回修正予想 (B)	1,052	251	196	195	1,875	2,010	3,885
増減額 (B) - (A)	—	—	—	—	-1,875	-2,010	-3,885
増減率	—	—	—	—	-50.0%	-50.0%	-50.0%

※ 予想期末発行済投資口数 102,966口、1口当たり予想当期純利益 1,897円

※ 当期においては、大規模な定期改修工事の実施を予定しているため、内部留保の増加および利益超過分配金の減少を見込んでいます。

## (10) 2026年6月期（第11期）の運用状況および分配金の予想の修正

	営業収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期 純利益 (百万円)	1口当たり 分配金 (円) (利益超過分配 金は含まない)	1口当たり 利益超過 分配金 (円)	1口当たり 分配金 (円) (利益超過 分配金を含む)
前回発表予想 (A)	1,046	230	179	178	3,430	3,650	7,080
今回修正予想 (B)	1,046	230	179	178	1,715	1,825	3,540
増減額 (B) - (A)	—	—	—	—	-1,715	-1,825	-3,540
増減率	—	—	—	—	-50.0%	-50.0%	-50.0%

※ 予想期末発行済投資口数 102,966口、1口当たり予想当期純利益 1,733円

※ 当期においては、大規模な定期改修工事の実施を予定しているため、内部留保の増加および利益超過分配金の減少を見込んでいます。

- ※ 本投資法人は、発電量の季節変動を勘案し、安定的に投資主に分配することを目的として、営業期間を毎年7月1日から翌年6月末日までの1年としています。投資法人の投資口には株式の中間配当に相当する制度がないため、本投資法人が投資主に対して行う利益の分配は、監査を受けた年次計算書類に基づき、分配可能な利益がある場合に年1回のみ行われます。
- ※ 2018年6月期（第3期）の運用状況の予想の前提条件については、2017年8月9日付発表の「平成29年6月期決算短信」15ページ「平成30年6月期（平成29年7月1日～平成30年6月30日）の運用状況の予想の前提条件」をご参照ください。また、2019年6月期（第4期）から2026年6月期（第11期）の運用状況の予想の前提条件については、2017年6月28日付発表の「10か年の運用状況および分配金の予想の修正のお知らせ」8ページ「【別紙】10か年計画における運用状況の予想の前提条件」をご参照ください。ただし、いずれも、各期の予想発行済投資口数は、上述投資口の分割後の投資口数である102,966口を前提としています。
- ※ 各期の運用状況の予想については、上述前提条件に基づき算出した本日現在の予想です。したがって、今後の再生可能エネルギー発電設備等の取得もしくは売却、インフラ市場等の推移、金利の変動、または本投資法人を取り巻くその他の状況の変化等により、前提条件との間に差異が生じ、その結果、実際の営業収益、営業利益、経常利益、当期純利益、1口当たり分配金（利益超過分配金は含まない）、1口当たり利益超過分配金および1口当たり分配金（利益超過分配金を含む）は変動する可能性があります。また、本予想は分配金および利益超過分配金の額を保証するものではありません。
- ※ 本件10か年の運用状況および分配金の予想は、売電収入の安定性により長期にわたる運用状況の予想が可能なることから、見通しを明らかにしたものです。なお、2027年6月期（第12期）以降については、運用状況の予想が可能となった時点で開示を行います。上述予想と一定以上の乖離が見込まれる場合は、予想の修正を行います。
- ※ 金額については単位未満を切り捨て、割合については小数第2位を四捨五入して表示しています。

以 上